

『子どものジェンダーにどうかかわるか』

「ジェンダーってなに？」

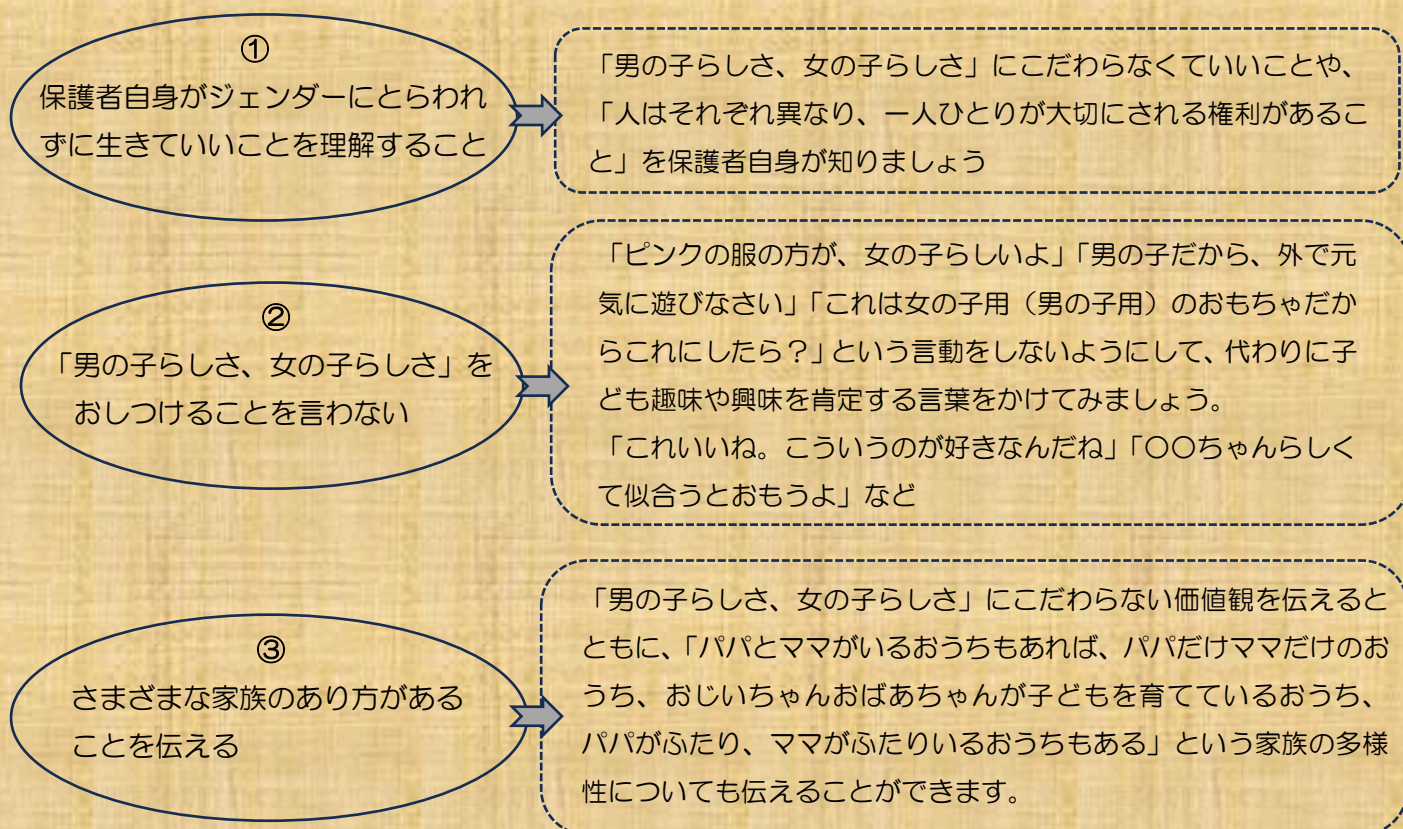


ジェンダーとは、社会的・文化的につくられた性別の役割のこと。

ジェンダーについて考えるということは「男の子らしい、女の子らしい、ってどういうこと？」を考えることにつながります。子どもたちは生まれた時から性別についてのメッセージを受け取っています。例えば、赤ちゃんの服やおくるみの色。成長していく中でも、買ってあげる玩具や、提案する遊びごとなど…。

男の子はブルー、女の子はピンクといった色の「男の子らしさ、女の子らしさ」や、男の子はヒーローにあこがれて、女の子はプリンセスに憧れるはず、といった「男の子らしさ、女の子らしさ」。周りの大人たちやメディアの影響を大きく受けて、子どもたちは「男の子らしさ、女の子らしさ」のメッセージを受け取っているのです。

～どんなことに気をつけたらいい？～



「ジェンダー」について小さな子どもに伝えるのは難しいことだと思います。子どもと遊びながら、楽しく、からだやプライベートゾーンなど絵本やグッズなどを使って伝えていくのも一つの方法ですね。

